

高麗川の概要



川のまるごと再生プロジェクト

様式-2

清流高麗川を生かした 安らぎとにぎわいの創出



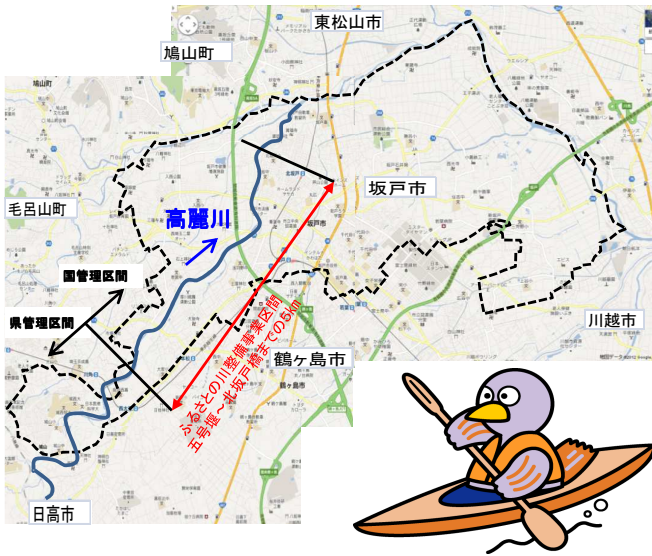
一号堰



坂戸市

坂戸市では高麗川が南西から東へ流れ、川に沿って「高麗川ふるさと遊歩道」が整備されており、清流高麗川の緑豊かな自然を満喫しながら安らぎを得られる水辺空間となっています。この高麗川の豊かな自然環境を保全、創出するとともに、自然に親しみながら散歩やウォーキングの場として利用できる水と緑のネットワークづくりを推進しています。

市町村域と川の関係(現状の案内図)



川の現状

- 高麗川の市内流路延長11.1km
(うち県管理区間4.7km ※河川整備計画なし)
- 美化活動団体: 高麗川ふるさとの会
四日市場護岸花卉愛好会
城西大学高麗川プロジェクト
(うち川の応援団の登録 2団体)
- 川の特徴
 - ・関東有数の清流(県内上位の水質)
 - ・国の「ふるさとの川整備事業」により市民参加による川づくりが実施され、多くの市民から愛されています。
 - ・浅羽ビオトープや高麗川右岸環境側帯を中心に自然観察や野外活動の場として親しまれています。

まちづくり等の課題

- 森戸橋上流(県管理区間)は、高麗川の清流と自然を十分生かせない状況となっています。
- 河川敷における不法投棄。

豊かな緑や河川の自然環境と共生するまちの創出

市街地である北坂戸から坂戸の景勝地である城山までの高麗川ふるさと遊歩道を整備することで、高麗川の清流と緑豊かな自然を親しみながらウォーキングできる環境づくりを実現します。この取り組みにより、遊歩道の利用者の増加や高麗川上流部の原自然との触れ合いの場、憩いの場を創出できるものと期待しています。

まちづくりと川の関係(イメージ図)



現状と課題への対応

- 森戸橋から上流は、水辺に親しめるスポットになっているが、河川敷が整備されていないことから、水辺に近寄れず、また川に沿って歩くことができないため、高麗川の清流や自然を体感できない場所となっています。
- 森戸橋から上流は、河川敷が整備されていないことから見通しが悪く、人通りがないため、不法投棄されやすい場所となっています。



目標・テーマ

- 護岸・遊歩道整備によって遊歩道全線が川に沿ったコースとなることから、高麗川の自然をより体感でき、利用者の増加につながります。
- 遊歩道の利用者が増加し、見通しが良くなることで河川敷の不法投棄をなくします。

高麗川ふるさと遊歩道の森戸橋から上流では、河川敷が整備されていないため、高麗川の自然環境を活用できない状況となっています。そこで護岸、遊歩道工事を実施することにより、利用者が高麗川の清流や緑豊かな自然に親しみ、遊歩道を通じた良好な水辺空間を創出します。

位置図



①多和目天神橋から下流を望む



実施してほしい取組の概要

- ①親水護岸整備、遊歩道整備
(多和目天神橋～多和目橋 右岸:700m)
- ②親水護岸整備、遊歩道整備
(森戸堰～森戸橋 右岸:500m)

工程表

	H25	H26	H27
護岸整備	測量設計	工事	工事
遊歩道整備	〃	〃	〃

市町村が取組む事業等の概要(多和目・四日市場地区)

本市では高麗川ふるさと遊歩道を整備し、多くの利用者に高麗川の自然や水辺空間を楽しんでもらえるような取組みを行うとともに、高麗川の清流の保全・創出のために地域のボランティア団体や学生と一体となった協働活動を推進します。また、国の「ふるさとの川整備事業」により、新たに川沿いに整備された遊歩道を本事業に併せて活用できるようにします。

位置図



事業等の概要

- 森戸橋から下流200mの歩きづらい遊歩道を整備します。
- 遊歩道の案内看板や新しいコースの曲がり角に道標を設置します。また、ふるさとの川整備事業区間にも道標を設置します。
- 今年度、遊歩道整備事業として浅羽ピオトープのトイレ改修や安全対策のための歩道整備を実施しています。
- 遊歩道の利用者用トイレの改修や増設をします。
- 遊歩道の見どころでもある木橋の若宮橋を安全に通行できるよう改修工事を実施します。



ハ
ー
ド

ソ
フ
ト

- 遊歩道マップを作成します。
- ボランティア団体や学生等と協働し、ボランティア活動を推進します。

工程表	H25	H26	H27
遊歩道整備工事	○	○	—
案内看板及び道標設置・マップ作成	—	—	○
トイレ改修(1箇所)・増設工事(1箇所)	○	○	—
若宮橋改修工事	○	—	—

本市では高麗川の自然を楽しみながら利用できる遊歩道の整備と環境づくりに取り組んでいます。また、地域のボランティア団体や学生等と連携した河川清掃活動に取り組むことで、行政と市民が一体となった川の環境づくりを推進しています。

維持管理の概要

- 市とボランティア団体、学生(高校・大学)などが協働し、ゴミ清掃等の維持管理活動を行います。
- 遊歩道沿いの草刈は市で実施します。
- 不法投棄監視パトロールを市とボランティアで連携して取り組みます。

既存の活動

- ・高麗川ふるさとの会(川の国応援団)
活動場所: 浅羽ビオトープを中心とした北坂戸橋～五号堰
内容: 清掃活動、水質調査活動、環境学習など
- ・四日市場護岸花卉愛好会(川の国応援団)
活動場所: 四日市場地内(水辺再生100プラン整備箇所)
内容: 清掃活動
- ・城西大学高麗川プロジェクト
活動場所: 多和目天神橋～多和目橋～100プラン箇所
内容: 清掃活動、高麗川沿い休耕地の活用など

持続的・自立的な維持管理に向けた取組

- 市とボランティア団体、学生との間で円滑な連携が取れるように意見交換を実施します。
- 市とボランティア団体や学生と協働し、ボランティア活動を推進します。
- ボランティア団体や大学のHPなどを活用して高麗川での清掃活動をPRし、ボランティアの輪が広がるよう働きかけます。

維持管理への支援制度

- ・市ホームページによるPR
概要: 高麗川での清掃活動等のPR広報を行い、河川環境美化に対する啓発を行います。
- ・清掃活動の補助
概要: ボランティア団体、学生が清掃活動で集めた処分できない粗大ごみ等の回収、処理を市で行います。

再生した川やまちの利活用に向けた取組

水辺再生100プランで整備された水辺空間と新しい遊歩道をつなぐことで、さらに水辺に親しめる道とし、旧遊歩道は神社仏閣を巡り、坂戸の歴史に触れる道とすることで相互に坂戸の魅力を体感できる遊歩道を創出します。また、国の「ふるさとの川整備事業」により下流部の遊歩道も新たに川沿いに整備されたことから、より魅力的な遊歩道としリニューアルします。

利活用の計画

- 日常の散策路としての利用など地域のコミュニケーション創出の場となるよう推進していきます。
- 学生などの若い世代に、川に親しみを持ってもらい、環境美化についての意識を醸成します。
- リニューアルされる遊歩道を活用して「高麗川ふるさと健康ウォーキング」を実施し、清流高麗川のPRと地域の活性化につなげます。
- 坂戸市総合振興計画において、高麗川を水辺のレクリエーション軸として位置付けており、今後、高麗川ふるさと遊歩道を軸として市内を流れる川を活用しながら遊歩道を広げていきます。



利活用の実施

- 広く市内外の方々にアピールできるよう、広報活動に取り組みます。
- 学校の課外学習の場や部活動の練習、ジョギングコースなどに活用してもらいます。
- 親水護岸として整備される森戸橋上流部を高麗川の親水スポットとして利用してもらいます。
- 清流に架かる優しく素朴な木橋と一号堰から五号堰までの五つの堰を結ぶルートにします。
- 旧遊歩道は滝不動や諏訪神社、秋葉神社などの神社仏閣を巡り、利用者が坂戸市の歴史に触れることができるルートになります。

既存のイベント

- ・高麗川ふるさと健康ウォーキング
<主催者> 坂戸市
<内容> 高麗川の自然を楽しみながら健康増進のための遊歩道散策
<会場> 高麗川ふるさと遊歩道

○取り組みにより期待される効果

- ・学生との協働活動により、若い世代が川に対する愛着や興味を持つことができます。
- ・遊歩道の利用者が増加し、遊歩道の見通しが良くなることで不法投棄が減少します。
- ・国の「ふるさとの川整備事業」に併せ、「川のまるごと再生プロジェクト」に取り組むことで、市内を流れる高麗川をまるごと再生します。
- ・遊歩道が市街地である北坂戸から景勝地の城山まで、高麗川のほとりを歩くことが可能になることから、さらに親しみやすい川となり、多くの市民や観光客を呼び込むことができます。
- ・遊歩道の起点から終点までボランティア活動が行われることで、多くの市民が高麗川に愛着を持ち、「ふるさと坂戸」を実感することができます。



○川の国埼玉の実現にどのようにつながるか

- ・本取組により、清流高麗川の「うるおい」や「安らぎ」に触れ、「ふるさと坂戸」「ふるさと埼玉」の魅力を多くの方々に実感していただくことにより、誰からも愛着を持たれる川になります。
- ・リニューアルされる「高麗川ふるさと遊歩道」の活用により、多くの市民や観光客を呼び込み、高麗川に「にぎわい」を創出します。

原風景の復活と ～誰もが歩けるやすらぎの巾着田～



横手溪谷

こまがわ
高麗川

日高市



日高市マスコットキャラクター
くりっかー&くりっぴー

川とまちの現状把握

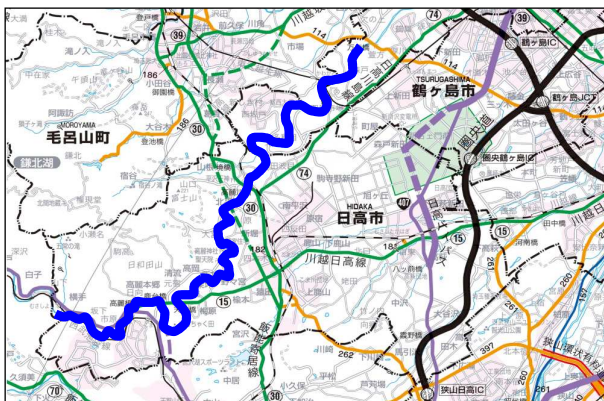
清流高麗川は、奥武蔵正丸峠付近の山々にその源を發し、幾十幾百の谷の水の一滴一滴を集めて小さな流れをつくり、やがて白い水しぶきを上げながら奔流を形づくり、日高市の横手地区へと入ります。本流の流路長は約40kmであり、日高市内を流れる長さは約16kmです。

関東有数の水質を誇る高麗川の清流があることから、市では、平成7年に“ふれあい清流文化都市”を宣言しています。特に、山間地域である横手溪谷は、勾配約0.035と下流の平均約0.003を大きく上回り、その美しく勇壮な姿には、たくさんのファンがいます。

また、横手溪谷の下流に位置する“巾着田の曼珠沙華”はその名を全国に知らしめるほどの景勝地となっています。巾着田の堤内に足を踏み入ると、そこは原風景が残された別世界であり、日頃から地域住民の散策や川遊びに利用されているほか、バーベキューなどを楽しむ行楽客で賑わっています。

このように、魅力満載の“清流高麗川”ですが、これまで、川を起点とした、あるいは川に着目したハイキングコースには着目されてきませんでした。

市町村域と川の関係(現状の案内図)



川の現状

- 高麗川の延長 約16km(河川整備計画なし)
- 美化活動団体 9団体(うち川の国広援団:2団体)
横手友好会、天神橋美化衛生協力会、
栗坪上組親睦旅行会、白銀平むつみ会、野々宮仲好会、
日高市観光協会、巾着田管理協議会、
巾着田サポーターズクラブ、埼玉西部漁業協同組合高麗支部
- 川の特徴
奥武蔵の溪谷と関東有数の水質

まちづくり等の課題

- 川に着目したハイキングコースが少ない
- ハイキングコース内の施設の腐食が進み危険な場所がある
- 観光客で賑わう巾着田の整備が行き届いていない

原風景の復活と誰もが歩けるやすらぎの“巾着田”

様式-4

関東有数の水質を誇る“清流高麗川”は、その美しさから親水スポットとして人気を集めています。特に、山間部を勇壮に流れる横手渓谷とその下流に位置する巾着田は、年間を通じてたくさんの行楽客が訪れます。



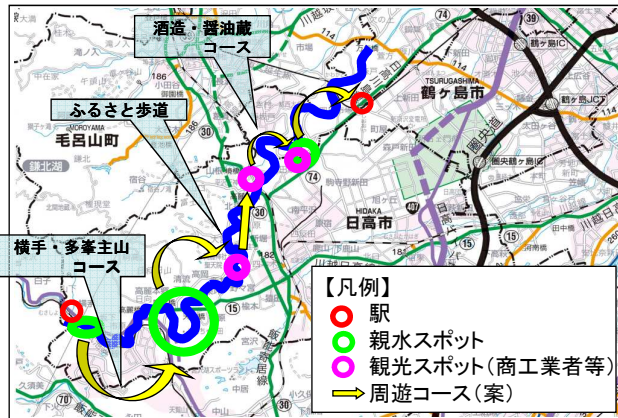
水辺再生100プランにおいて整備された“横手渓谷の遊歩道”と“天神橋下の遊歩道”は、新たな親水空間として地元住民の散歩コースになっています。

また、巾着田から下流域にもたくさんの親水空間があり、春から秋の行楽シーズンにはたくさんの家族連れがバーベキューや川遊びに訪れます。

今後は、これら大小の親水スポットを有効につなぎ、様々な活動が行えるよう整備が期待されます。



まちづくりと川の関係(イメージ図)



現状と課題への対応

- 市民や行楽客が安心して安全に周遊できるようコース内の施設を整備する。
- 巾着田の魅力さをさらに向上させるため、新たな施設を整備し、年間約60万人の行楽客数を増加させる。
- 市内の隠れた魅力を再確認し、19種類のルートでつないでいく。

目標・テーマ

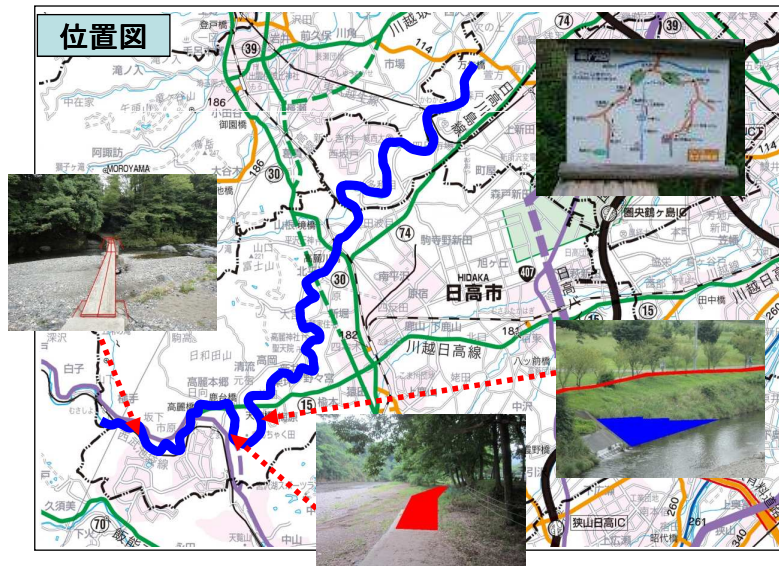
- ハイキングコース内を整備する
 - ・流れ橋の橋桁を交換するとともに橋脚などにつなぐ。
 - ・散策道路を拡幅する。
- 巾着田内を整備する
 - ・魚道を整備し親水空間にするとともに、遊歩道を整備し、歩行者の安全を確保する。
- 川に着目したハイキングコースを設定する
 - ・近隣の商工業者などとの連携のもと、複数のハイキングコースを川に着目して有効につなぐ。

県に実施してほしい取組

様式-5

- ・今ではあまり見ることのできない“流れ橋”。橋の上からは勇壮な横手渓谷の流れを見ることができます。腐食が激しい橋桁の交換と、生木につないでいる橋桁を安定した構築物につなぐ必要があります。
- ・巾着田内の車道と歩道を分離すれば訪れる市民や行楽客が安心して安全に周遊できます。
- ・高麗川と巾着田内水路出口には大きな高低差があります。魚道を整備するとともに魚道の脇に遊歩道を整備することで訪れる人々が魚の遡上の姿を見ることができます。
- ・高麗川にはたくさんの親水スポットがあります。それぞれのポイントをハイキングコースでつなぐためには、道標や案内板が必要です。

位置図



実施してほしい事業の概要

- 歩行者の安全を確保するための流れ橋の架け替えと固定(ワイヤー固定)
- 歩行者の安全を確保するための遊歩道整備(2箇所)
- 高麗川から巾着田に魚が遡上できるような魚道を整備
- ハイキングコースに親水空間案内板を設置

工程表

工程表	H25	H26
1 橋桁架替え	測量設計 ~工事 設置	活用
2 魚道と遊歩道		
3 案内板		

市が取り組む事業等の概要

様式-6

川を視点としたハイキングコースの確立により、地域住民や行楽客に“清流高麗川”をアピールすることができます。また、飯能市や坂戸市との連携による広域周遊コースは、行楽客に新たな楽しみを与えます。さらに、人気の親水スポットである巾着田に新たな魚道を整備し、水路を改修することによって、魚を増やす環境が整います。また、巾着田内に乱立する啓発看板などの構築物を景観に配慮したものに切り替えていくことで、巾着田の魅力が増します。



事業等の概要

ハード

ソフト

- 巾着田内を魚が自由に泳ぎ回れるよう水路を整備するとともに、原風景復活のため、景観にそぐわない構築物を一括します。
- 周遊コース内の道路を拡幅・補修します。(横手溪谷～拡幅道路～大門橋～市街地～飯能市～巾着田～下流域へ)
- 周遊コースに道標や案内板を設置します。
- 西武池袋線高麗駅から東武越生線西大家駅に向けて高麗川沿いの周遊コースを設定します。
- JRや西武鉄道、東武鉄道との連携の下、駅から駅へのハイキングイベントを開催します。
- 合併処理浄化槽への転換促進により、高麗川の水質改善に取り組みます。

工程表

	H24	H25	H26	H27
水路整備		設計・工事	活用	活用
道路拡幅	測量・工事	活用・補修	活用・補修	活用・補修
看板等付け替え	実施・活用	実施・活用	実施・活用	活用
コース設定、道標設置	検討	実施・活用	実施・活用	実施・活用
水質改善	啓発・実施	啓発・実施	啓発・実施	啓発・実施

維持管理の実施

様式-7

清流高麗川は日高市の財産であり、市民や行楽客の安らぎと潤いの場です。そのような観点から、本事業により整備した川や水路などの維持管理は、市と各関係団体が責任を持って実施します。また、各家庭から排出される浄化槽の処理水をきれいに保つことも清流高麗川の維持保全には欠かせません。さらに、持続的・自立的な維持管理を定着させるため、各種イベントの企画とその連携により関係団体のモチベーションを維持します。

維持管理の概要

- 維持管理の対象
 - ・流れ橋、遊歩道、魚道、水路、看板などの構築物
 - ・各家庭の浄化槽
- 維持管理の実施主体
 - ・日高市、日高市観光協会、天神橋美化衛生協会外関係団体、巾着田管理協議会、巾着田サポーターズクラブ、埼玉西部漁業協同組合高麗支部、各家庭
- 維持管理の内容と想定される役割分担
 - ・流れ橋、遊歩道、魚道、散策道路の維持管理・・・日高市
 - ・草刈、ごみ拾い、水路清掃・・・日高市観光協会、天神橋美化衛生協会ほか協力団体、巾着田管理協議会など
 - ・高麗川流域各家庭の合併処理浄化槽への転換促進や保守点検の徹底啓発など・・・日高市
 - ・浄化槽の適正管理・・・各家庭
- 役割分担の検討方法
 - ・市が管理委託している各団体と協議して定期的に検討する。

既存の活動

- ・天神橋美化衛生協会、栗坪上組親睦旅行会、白銀平むつみ会、野々宮仲好会による「ごみ拾い」
- ・埼玉西部漁業協同組合による「河川パトロールやごみ拾い」
- ・巾着田管理協議会、日高市観光協会などによる「ごみ拾いや各種イベント企画」

持続的・自立的な維持管理に向けた取組

- 維持管理に対するモチベーションを保つため、各種イベントの際に、活動を実施しているエリアを巡るコースを設定し、その成果を来場者にご覧いただけます。
- 維持管理に対するモチベーションを保つため、整備した施設を活用した事業を実施します。
- 地域住民の美化清掃活動を持続させるため、各団体の活動状況を広報誌などに掲載します。
- 第5次日高市総合計画に掲げる「市民と行政の協働体制の確立」のため、各種イベントを協力団体主体により実施します。

維持管理への支援制度

- ・川の国応援団(埼玉県)
 - 概要:活動資材の貸出しや水質分析、啓発、資材の提供
- ・清掃活動等補助(日高市)
 - 概要:一定の活動に対する必要経費補助

再生した川やまちの利活用に向けた取組

様式-8

水辺再生100プランで整備された様々な施設を遊歩道でつなぎ、だれもが安心して安全に周遊できるよう整備します。

また、それぞれの施設を有効に活用するため、市産業振興課が中心となり、公的団体やボランティア団体、周遊コースに隣接する商工業者などの協力を得て、イベントや美化衛生活動などに取り組んでいきます。

利活用の計画

- 都心から自動車や公共交通機関を利用して1時間で訪れることができ、豊富な自然を残しているという立地条件を生かし“遠足日本一”を目指します。
- 魚の活動が活発になる春には、日高市観光協会主催の巾着田菜の花まつりが開催されます。このイベントは、訪れるお客様が自ら参加して楽しんでいただく体験型のお祭りです。当事業完了後は、このお祭りの中に、魚の放流などの新たな体験型コーナーを盛り込みます。
- 巾着田周辺で開催されるイベントは、地元の各協力団体と協議の元、取り組んでいきます。

イベント推進体制

主催団体：日高市観光協会、日高市商工会など

協力団体：日高市、巾着田管理協議会（公的団体）
巾着田サポーターズクラブ
高麗郷古民家サポーターズクラブ（ボランティア団体）
神社や造り酒屋・醤油業者など（工場見学などが可能な民間企業等）

利活用の実施

- 西武池袋線高麗駅から徒歩にて巾着田に入り、子どもから高齢者まで誰もが安心して安全に周遊できるよう、整備された遊歩道、河原、曼珠沙華公園、魚道、原っぱ（自由広場）、古民家を巡る散策ルートを確立させます。
- 巾着田周辺を訪れた行楽客を、新たに設定する周遊コースに誘導します。
- 当事業完了後、完成した魚道沿いの遊歩道から魚の遡上を見学するイベントを検討します。
- 行楽客が楽しく散策できるよう、周遊マップを作成するとともに、既存のボランティアグループの連携を図り、行楽客の利便性を高めます。

既存のイベント

- ・巾着田曼珠沙華まつり
主催者：日高市観光協会、日高市商工会
会場：巾着田曼珠沙華公園内
内容：市民によるおもてなしステージ、地場産特産品販売
- ・巾着田菜の花まつり
主催者：日高市観光協会
会場：巾着田ふれあい広場内
内容：市民によるおもてなしステージ、地場産特産品販売

取組全体のアピールポイント

様式-9

- 巾着田周辺は、年間を通じてたくさんの行楽客で賑わいます。特に秋の曼珠沙華シーズンには、約30万人の行楽客が真紅の絨毯を堪能しています。
- 巾着田周辺の高麗郷を訪れる行楽客を飯能市や坂戸市に誘導することは、広域的な地域の賑わい創出につながります。
- 西暦716年に当地域を中心とした高麗郷一帯に高麗郡が置かれました。2016年（平成28年）に、高麗郡建郡1300年を迎えることから、歴史を柱とした地域間連携によるまちおこしを実現します。

■取り組みにより期待される効果

西武池袋線高麗駅と東武越生線西大家駅を結ぶ新たな周遊コースの実現は、誰でも安心して安全に楽しむことができるハイキングコースの確立であり、清流高麗川を見つめなおす絶好の機会になります。また、コースに隣接する商工業者など協力を得ることで、地元特産品のPRと地域の賑わいの創出につながります。

また、魚道の整備は、新たな巾着田の楽しみとして、新規ファンの獲得、リピーターの確保につながります。

■地域による持続的・自立的な維持管理の実現性

各地域の協力団体は、市と密接に連携を図り、日頃の美化活動に励んでいます。特に、巾着田管理協議会は、事務所職員と地元関係区長、漁協役員等で構成されており、巾着田周辺の自然・生活環境の保全や施設の維持整備について、定期的に協議しています。

■川の国埼玉の実現にどのようにつながるか

清流高麗川は、訪れる行楽客に感動とやすらぎを与えます。高麗川の整備、美化、活用は、行楽客の増加につながり、川の国埼玉の絶好のアピールにつながります。

